

株式会社ツムラ

2019年度 第3四半期決算説明

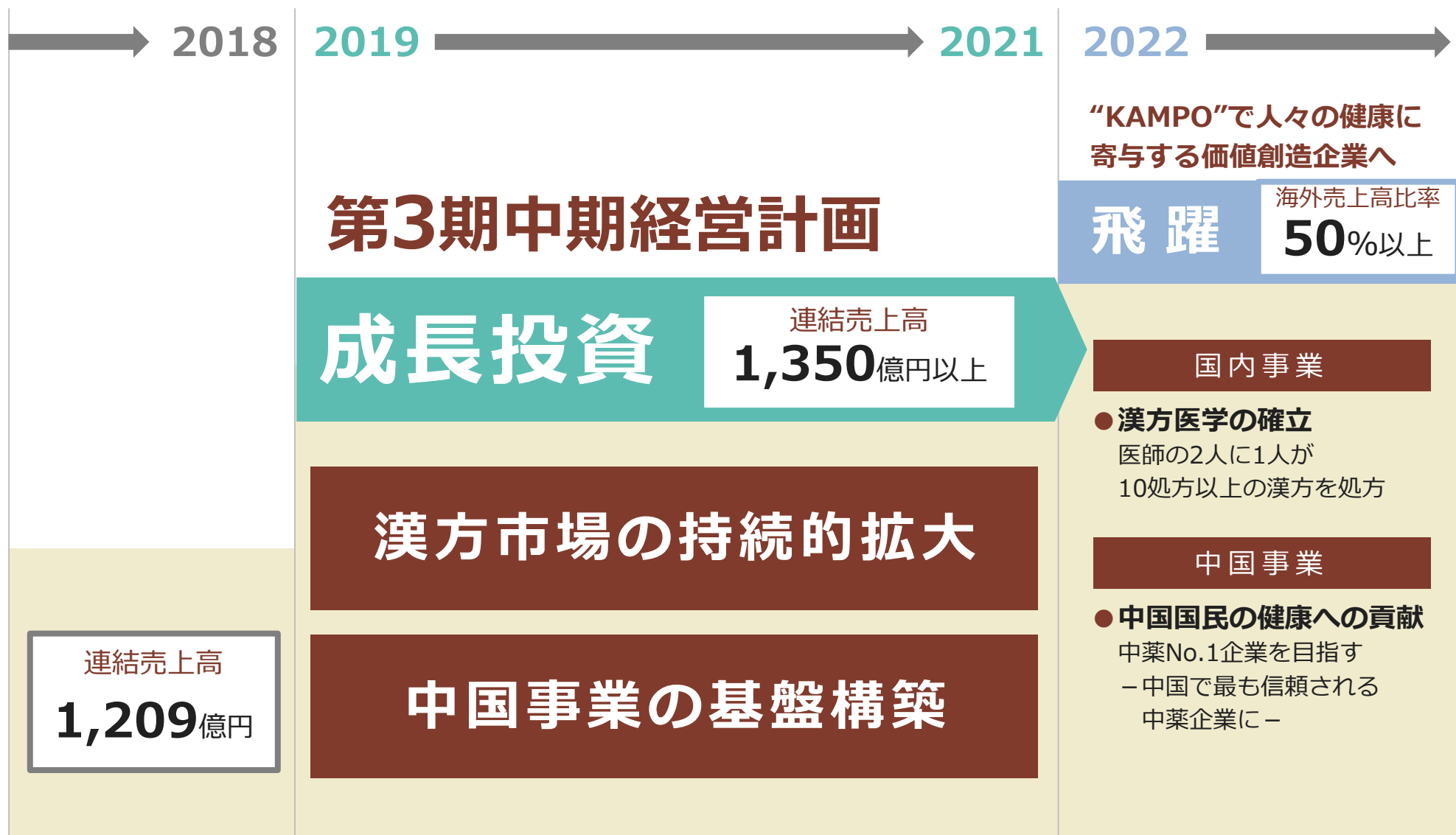
(2019年4月1日～2019年12月31日)

カンファレンスコール

2020年2月10日(月)

取締役常務執行役員CFO 半田 宗樹

長期経営ビジョン実現へのロードマップ

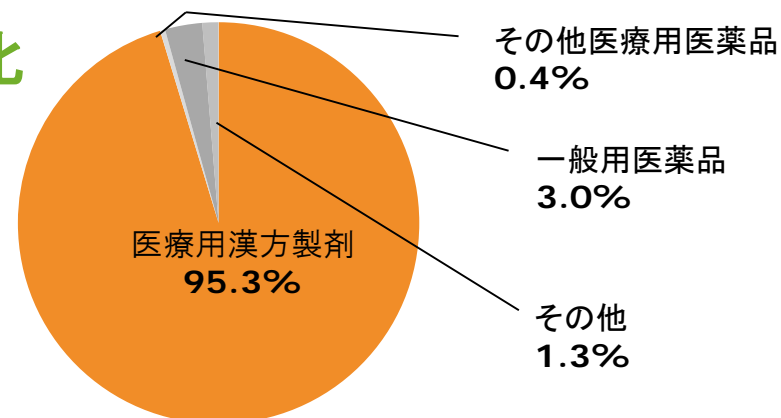


2019年度 第3四半期決算の概要

(百万円)

	2018年度 3Q実績	2019年度 3Q実績	前年同期比		通期計画	
			金額	伸長率	金額	進捗率
売上高	92,010	95,185	3,175	3.5%	125,000	76.1%
営業利益 (営業利益率)	15,280 (16.6%)	16,151 (17.0%)	871	5.7%	17,000	95.0%
経常利益	16,094	16,675	581	3.6%	18,000	92.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	11,731	11,690	△41	△0.3%	12,300	95.0%

売上高構成比



決算のポイント

前年同期と比べ、増収微減益の決算

売上高	95,185 百万円	前年同期比	+3.5%
------------	-------------------	--------------	--------------

- 医療用漢方製剤129処方の上高は、前年同期比+3.3%、金額ベースで80処方が伸長しました。
- OTC医薬品の売上高は、前年同期比15.6%伸長しました。

営業利益	16,151 百万円	前年同期比	+5.7%
-------------	-------------------	--------------	--------------

営業利益率	17.0 %	前年同期比	+0.4pt
--------------	---------------	--------------	---------------

- 売上原価率は、生薬関連コストが低減したものの、未実現利益の影響により41.1%(前年同期比+0.4pt)となりました。
- 販管費率は、販売感謝金、研究開発費が増加したものの、売上高増加により41.9%(前年同期比△0.8pt)となりました。

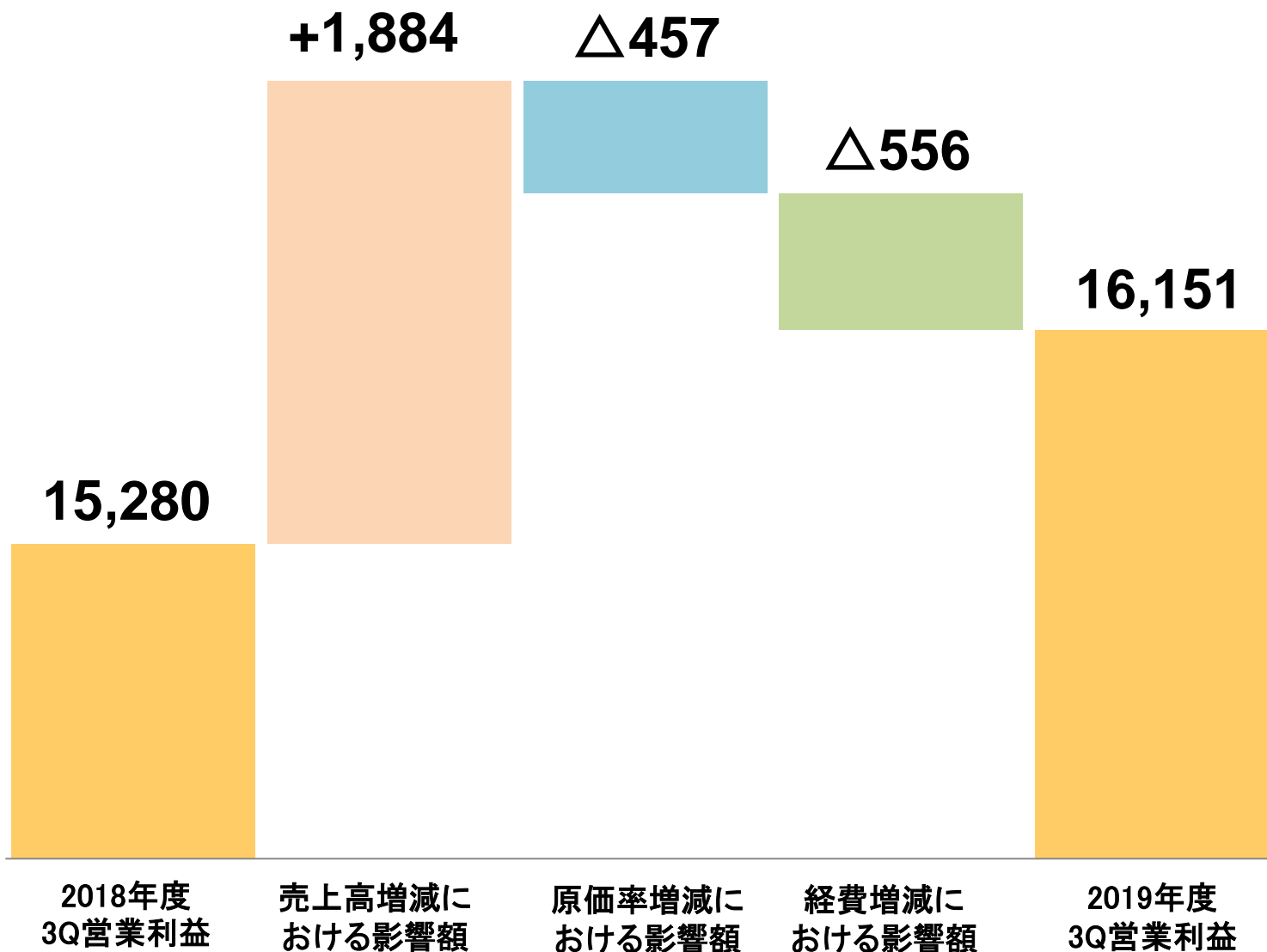
経常利益	16,675 百万円	前年同期比	+3.6%
-------------	-------------------	--------------	--------------

親会社株主に帰属する 四半期純利益	11,690 百万円	前年同期比	△0.3%
-----------------------------	-------------------	--------------	--------------

- 関係会社の清算を決定したことに伴う出資金評価損として 419百万円を特別損失に計上しました。

営業利益の増減要因(前年同期比較)

(百万円)



(百万円)

原価率増減における影響額 内訳

売上構成	△286
生薬費	+571
加工費	△190
未実現利益	△552

経費増減における影響額 内訳

販促費、感謝金	△298
研究開発費	△240
人件費	△129
その他	+111

財務状態

バランスシート

(百万円)

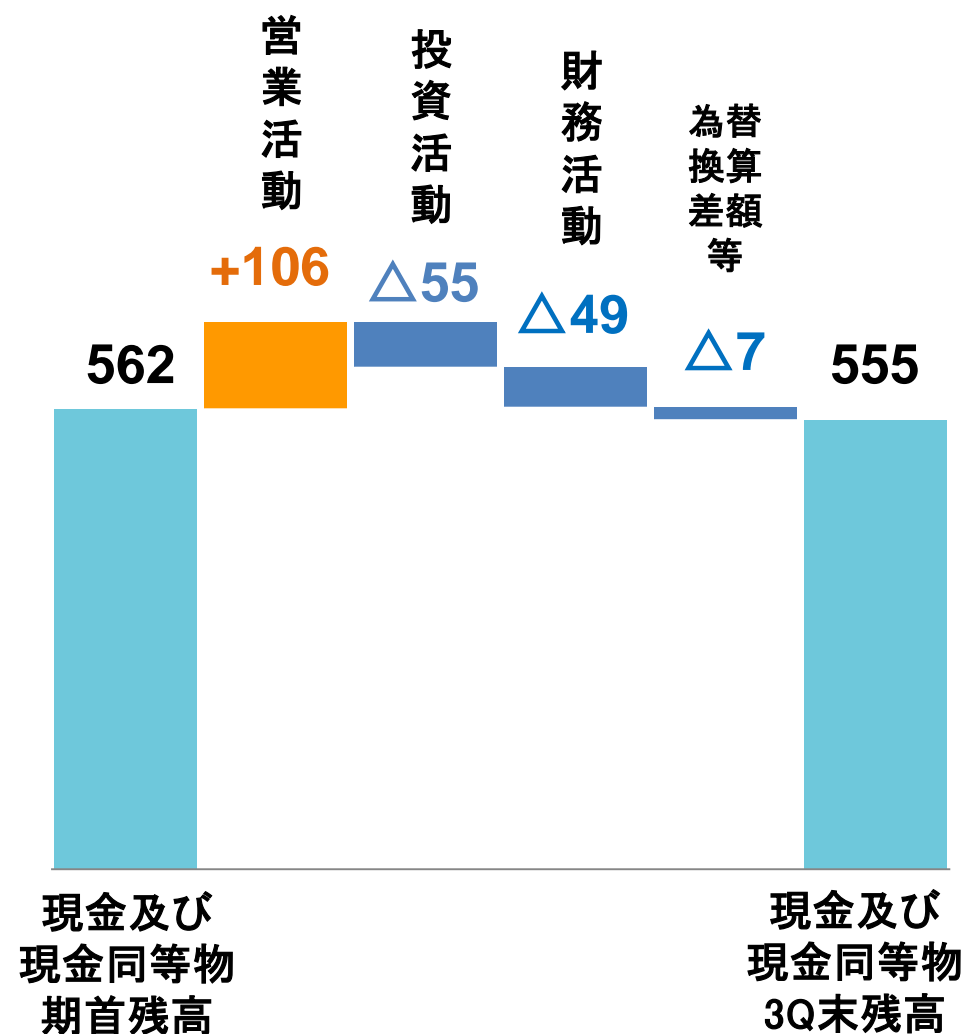
	2019年 3月末	2019年 12月末	増減額
資産合計	287,322	286,183	△1,139
流動資産	190,027	185,325	△4,701
固定資産	97,295	100,857	3,562
負債合計	81,181	77,723	△3,457
流動負債	33,320	30,588	△2,732
固定負債	47,861	47,135	△725
純資産合計	206,141	208,460	2,318
自己資本比率	70.2%	71.4%	1.2pt

(百万円)

B/S	2019年 3月末	2019年 12月末	比較増減
たな卸資産	51,808	56,490	4,682
(商品及び製品)	9,382	7,361	△2,021
(仕掛品)	11,125	12,467	1,342
(原材料及び貯蔵品)	31,299	36,660	5,361

キャッシュ・フローの状況

(億円)



医療用漢方製剤(育薬処方・Growing処方)売上高

(百万円)

	売上順位	製品No./処方名		2018年度 3Q実績	2019年度 3Q実績	前年同期比	
育薬処方	1	100	大建中湯	8,053	8,023	△30	△0.4%
	2	54	抑肝散	5,916	6,028	111	1.9%
	3	43	六君子湯	5,564	5,726	161	2.9%
	9	107	牛車腎気丸	2,794	2,813	18	0.7%
	22	14	半夏瀉心湯	1,030	1,094	64	6.2%
育薬処方合計				23,360	23,685	325	1.4%
Growing処方	4	41	補中益気湯	5,597	5,589	△7	△0.1%
	5	68	芍薬甘草湯	3,970	4,112	141	3.6%
	6	29	麦門冬湯	3,530	3,682	151	4.3%
	7	24	加味逍遙散	3,533	3,621	88	2.5%
	8	17	五苓散	3,199	3,522	323	10.1%
Growing処方合計				19,830	20,528	698	3.5%
育薬処方・Growing処方以外の119処方 合計				41,395	42,759	1,364	3.3%
医療用漢方製剤 129処方合計				87,834	90,722	2,888	3.3%

医療用漢方製剤129処方伸長率

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度 1Q	2019年度 2Q	2019年度 3Q
金額ベース	2.4%	2.3%	1.9%	2.4%	2.7%	3.3%	4.2%	3.3%
金額伸長処方数	81	68	95	63	83	80	87	80

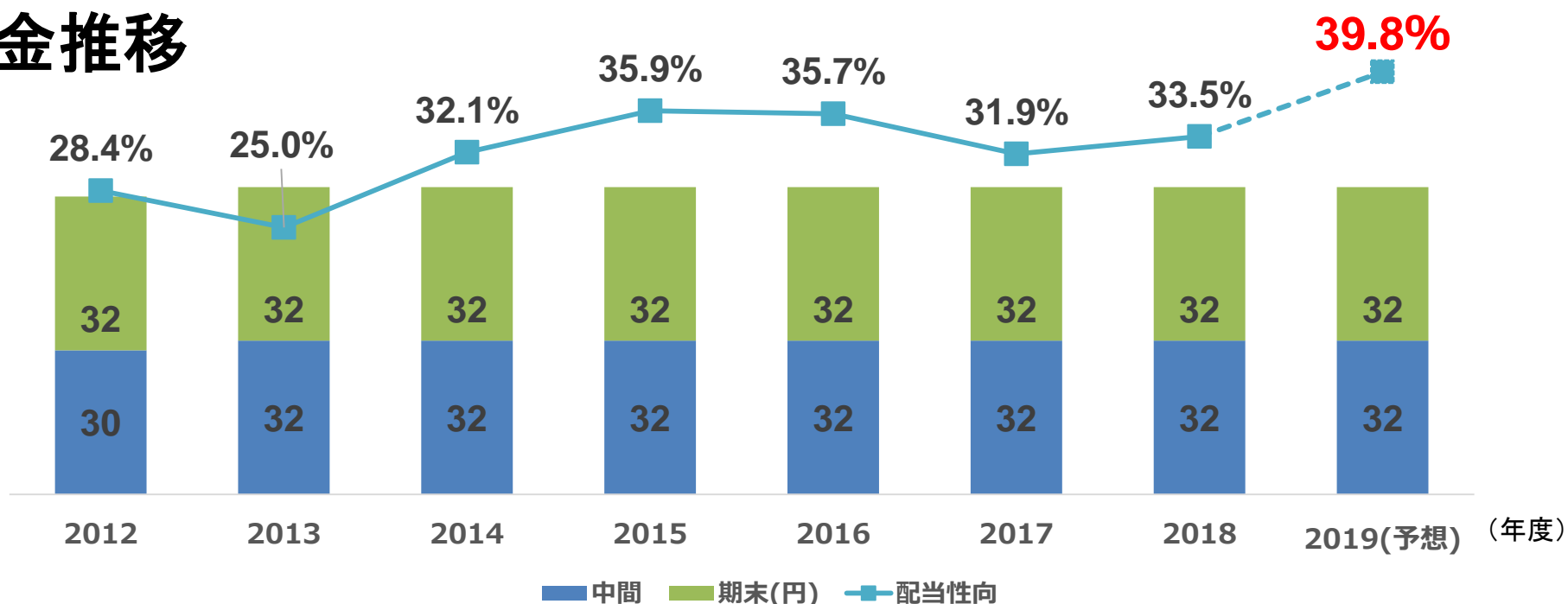
株主還元

株主還元

方針

- “漢方”事業の持続的な拡大と中国事業の成長投資および基盤構築を通じて、企業価値の向上を図る
- 中長期の利益水準やキャッシュ・フローの状況等を勘案し、安定配当を実施する

配当金推移



(注)2019年度の期末配当金および配当性向(予想)は、第84回定時株主総会による配当議案が決議された場合の数値を記載

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社ツムラ

コーポレート・コミュニケーション室

広報グループ

TEL:03-6361-7100

IR推進グループ

TEL:03-6361-7101

見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 現在発売している主要製品が、万が一製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。